



宮司プレス 第二百九号

彦島八幡宮 宮司ニユース
発行者 彦島八幡宮
宮司 柴田 宜夫

発行 令和六年 一月 十六日

◇宮司の柴田です。 本年も宜しくお導きくださいませ。 今年最初の宮司プレス二百九号の発行です。 昨日は、小正月でしたが、今年初めて月次祭を御奉仕申し上げました。 さらに、節分祭の準備ということで、今年で三年目となる「巨大お多福門」を設置しました。



◇さて、なぜ、昨日が、「小正月」なのでしょう。 月の満ち欠けを日付の基準にした旧暦（明治六年から採用された太陽暦【新暦】に対して、それ以前に使用していた太陰太陽暦の通称です）は、一年の最初の満月の日、つまり、旧暦一月十五日が正月でした。 しかし、新暦が採用されてからは、一月一日、元日を一年の初日としました。 そこから元日を「大正月」、十五日を「小正月」と呼ぶようになったそうです。

◇本年、令和六年の干支は、昨年十二月に発行した宮司プレス二百八号に詳述しましたように、「甲辰」です。 干支の十干十二支の組み合わせは、全部で六十通りありますが、今年、四十一番目の干支で、昭和三十九年にお生まれになった方と同じ干支です。 ちなみに、一番目は、「甲子」であります。 余談となりますが、兵庫県西宮市にある甲子園球場は、完成して今年で百年ですが、完成したのが、大正十三年、西暦一九二四年の「甲子」の年でありましたので、「甲子園」と命名されたそうです。

さて、干支の漢字は、ふだん、あまり目にしない漢字が多く使われています。 それもそのはずで、すべて、草木が、今、どのような状態であるかを表しています。「甲」は、もともと「よろい」「かぶと」の意味で、草木の種子をおおう厚い皮のことです。 種子が発芽するにあたり、まだ、厚い皮におおわれている状態といえるでしょう。 また、「辰」は、「ふるう」、「ととのう」という二つの意味

があり、草木の形が整い、活力が旺盛になった状態です。 しかも、「甲」は、十干の最初、始まりであることから、何か大きな力を秘めたものが、整い、しかも力がみなぎり、新しく始まるうとしている年回りといえるのではないのでしょうか。 さらに、「辰」は、

「起つ」にもつながりまして、明治改元も西暦一、八六八年、ロッキード事件やリクルート事件が起こったのも辰年でした。 今、政界では、あるうことか、「キックバック」も起こっています。 年初には、「神も仏もない大災害」、「シビアアクシデント」ともいうべき大震災が起こりました。 尊い命を失われた方々の御冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されたすべての方々に、心からお見舞いを申し上げます。 私共は、経験することなく、テレビ新聞等で伝えられる情報によって、沢山の知識を得ることが出来ます。 物理学者の寺田寅彦さんは、関東大震災の後に、「恐がりすぎてもいけない、恐がらなすぎてもいけない」とおっしゃり、「正しく恐れること」の大切さを論じられました。 その知識は、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等、沢山の尊い命の犠牲のお陰であることに思いを致し、けっして、忘れてはなりません。「物心両面」にわたつての「これからの備え」、「正しく恐れること」が、大切のような

気がします。

◇平成二十六年の「午年」から始めた恒例の

「書初め色紙」、今年も造語ではありませんが、三種類認めました。「共賑」、「神人賑」



「登龍実」の三種類です。さらに、その造語の説明、いわゆる、蘊蓄も浄書しました。三種類に共通しているのは、「龍」は、

想像上の動物でありながら、「龍に九似あり」、九つの動物の特徴を身にまとい、今風に申し上げるならば、「多様性」、「ダイバ―シテイ」を翻しているところを見習うべきだということ。 「共賑」は、お互いに尊敬しあい認め合い、助け合って、支え合って、共に栄えていく、「共尊共生共栄」

で、共に賑々しくという思いを認めました。「神人賑」は、私共は、神様に喜んでもらう生活を心掛ける、そうすることにより、人々も地域も喜ぶ、「神喜地喜人喜」で、神も人も

地域も賑々しくという願いです。「登龍門」

が、立身出世のきっかけといわれています

が、それは、中国の「龍門伝説」が、もた

になっていきます。鯉が、「龍門」という険

い滝を登りきると、「龍」になるとい

伝説で、ちなみに、龍の背中の鱗は、鯉の鱗

だといわれていて、見事に、整合性がと

れています。私共、厳しい世相のなか、日

々の営みこそが、「登龍門」なのです。その暮

らしが、「龍門伝説」にあやかり、結実する、

実を結ぶ日々、「大願成就」であることを願

い、「登龍実」と認めました。吉田松陰先生は、

「誠の心は三つある 一に曰く実なり 二

に曰く一なり 三にいわく久なり」、

「誠の心は、中身と優先順位と継続だ」とお

っしゃいましたが、その「実一久」の実、中

身のことであります。この三種類の「書初

め色紙」は、会社の新年の安全祈願祭等

で、無料で配り分けています。遠慮なく

お申し付けくださいませ。

◇今年こそは、「ギャッチ アップ」発行の遅

れを取り戻し、毎月一回発行に追いつく大

願成就、「登龍実」を目指したいと思

います。そして、日々、「神人賑」、神様

を喜ばす心で、神明奉仕、清掃奉仕、

社会奉仕に精励し、「共

賑」の地域社会が構築できますようつとめてまいります。御自愛ください。

◇一月の祭典行事報告ならびに予定

▼歳旦祭 一月一日

◆本宮 午前八時

◆田の首八幡宮 午前〇時

◆福浦金刀比羅宮 午前〇時

◆貴布祢神社 午前六時半

▼花手水

◆第一弾 *元旦〜一月四日

◆第二弾 *一月五日〜十日

▼元始祭 一月三日

▼六連島八幡宮歳旦祭 *一月十一日

▼迫町自治会参拝 *一月十三日

▼月次祭 *一月十五日

▼朝粥会 *一月二十一日

▼どんど焼き

◆田の首八幡宮 *一月二十日

◆本宮 *一月二十一日

▼一月の宮司動静

▼神社関係団体

◆早起会新年参拝、新年会 *一月十三日

◆維蘇志会新年 *一月二十一日

▼神社庁関係

◆山口県神社総代会役員会 *一月二十六日

◆下関支部総会 *一月三十日

▼自治会、学校関係、講演他

◆迫町自治会役員会 *一月十七日

◆人権相談 *一月十九日

◆山彦島はってんクラブにて講演

*一月十八日、下関グランドホテル